

## 川越市立美術館 令和4年度事業計画

### ■展示事業

#### ◆特別展 ※観覧料の（ ）は20名以上の団体料金。

展覧会名・会期・観覧料	概 要
<p>市制施行100周年・開館20周年記念特別展 <b>相原求一郎展 アンコール</b></p> <p>7月16日（土）～9月4日（日） 44日間</p> <p>大人 500円（400円） 大高生 250円（200円）</p> <p>目標観覧者数：5,000人</p>	<p>2018年から2019年にかけて川越・札幌・軽井沢を巡回した相原求一郎展をきっかけに相原芸術に魅了されたファンからのアンコールの声に応え、当館の所蔵作品で改めて相原の画業をたどる。近年コレクションに加わったスケッチやデッサンの公開を兼ね、50点以上を展示する。当館の相原作品をこれほど一挙に公開する展覧会は開館以来初となる。</p> <p>なお、本展は当初令和2年度冬季に開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響による臨時休館により公開しないまま終了となった。</p>
<p>市制施行100周年・開館20周年記念特別展 〈小江戸文化シリーズ〉5 <b>小茂田青樹展</b></p> <p>10月22日（土）～12月4日（日） 39日間</p> <p>大人 600円（480円） 大高生 300円（240円）</p> <p>目標観覧者数：8,000人</p>	<p>川越市の市制施行100周年と当館の開館20周年を記念し、川越が誇る日本画家・小茂田青樹（1891-1933）の軌跡をたどる。</p> <p>川越の中心地に生まれた青樹は、17歳で上京し、今村紫紅や速水御舟ら気の合う仲間とこれからの日本画を模索する青春期を送った。その後、再興日本美術院展への挑戦をとおして画家としての確固たる表現に目覚めてゆくが、一層の活躍を期待された矢先に、41歳という早すぎる生涯を終えた。自然観照に基づく写実性と装飾性の融合と、濃密な色彩表現は、唯一無二の個性として現在もなお評価が高い。</p> <p>本展では、各時代の代表作を中心に画業の展開をたどるとともに、資料と実作品の検証から主に昭和期における作品制作の実態や川越の関係にも迫る。当館では開館1周年以来19年ぶりとなる青樹展。</p>

## ◆タッチアートコーナー ※観覧無料。当館ガイドラインにより触察は禁止。

テーマ・会期	概要
<b>第1期</b> コレクションから 橋本次郎と建畠覚造 同じ年に生まれた二人  3月30日（水）～6月19日（日）	当館のコレクションから、橋本次郎と建畠覚造の作品7点を紹介する。作風は異なれど、同じ年に生まれ、同じ東京美術学校に学んだ2人の作品を比較しながら鑑賞できるようにする。
<b>第2期</b> 奥村拓郎展  6月28日（火）～9月19日（月祝）	彫刻家・奥村拓郎（1983- ）は木彫作品を一貫して制作する作家。しかし、黒系統で着色されたマチエールや、直線的でシャープな造形の抽象作品は、木彫の概念を覆す。当スペースに合わせた新作を中心に紹介する。
<b>第3期</b> 安部大雅展  9月22日（木）～12月18日（日）	彫刻家・安部大雅（1974- ）の石彫を紹介する。さいたま市出身の安部は日本およびイタリアで石彫を学び、現在は国内の個展およびグループ展で活躍する。またアートプロジェクトを主宰する。石の作品だけでなく異素材を組み合わせた作品を制作している。
<b>第4期</b> 糸賀英恵展  12月22日（木）～3月26日（日）	鍛金で作品を制作する糸賀英恵（1978- ）の作品を紹介する。多摩美術大学大学院を修了し、同大他で講師を務める。季節や時間のうつろいのなかに潜む生命の美を探求している糸賀のしなやかさと鋭さを併せ持つ作品をご覧いただく。

## ◆常設展（常設展示室＋相原求一朗記念室）

第1期「関根伸夫とその周辺」＋相原求一朗の画業Ⅰ 令和4年3月30日～6月19日

第2期「新制作協会の画家たち」＋相原求一朗の画業Ⅱ 令和4年6月28日～9月19日

第3期「まるごと小茂田青樹」＋相原求一朗の画業Ⅲ 令和4年9月22日～12月18日

第4期「白と黒の魅力」＋相原求一朗の画業Ⅳ 令和4年12月22日～令和5年3月26日

## ■教育普及事業

### ◆講座・ワークショップ・教育普及展示等

集まって、え・み～る (常設展ギャラリートーク)	1期につき前後期展1回ずつ(年8回) (4月23日実施、ただし参加者0人)
ジュニア アートスクエア (小学生対象ワークショップ)	毎月1回 (4月23日実施済)
学校連携事業「4校美術部展」	5月3日～5月8日(実施済)
ワークショップ「ミニ灯籠を作ろう」 (博物館連携事業)	8月4日
学校連携事業 「川越市立中学校美術部展」	8月18日～21日
学校連携事業 「ミュージアム×スクール」 (授業への作家派遣)	派遣作家：安部大雅氏(彫刻家)
川越市小・中学校児童生徒県特選受賞 作品展	2月23日～26日
金沢健一展(展示+ワークショップ+ パフォーマンス)	3月7日～26日
実技講座	8月20日 (夏期特別展関連事業として実施)
《協力事業》 川越市立小学校6年生バス見学	6月～7月 9月～10月

### ◆Kart サポートスタッフ

登録者数：55人

## ■管理運営

市民ギャラリー、創作室の使用（貸し出し）事業を行う。  
施設の管理を行うほか改修計画を進める。  
令和4年度で特筆するものは以下のとおり。

### ◆初雁公園整備に伴う対応

大型連休後、整備工事により来館者用の「美術館・博物館・本丸御殿専用駐車場」を4箇月程度閉鎖後、全面舗装のうえ再開する（収容台数28台予定）。その間は、美術館北側の駐車場を来館者用に供することになる（収容台数23台予定）。

## ■今後の課題について

前回会議で課題として意見のあった件について以下のとおり。

### ◆教育普及担当人員復活のための対策について

昨年度は教育普及担当の指導主事1名減だったが、令和4年度に**学芸員が1名減**（代わりに事務1名増員で全体人数は変わらず）となり、**学芸員の確保が最優先事項**となった。4月の要員計画では学芸員1名増員要望を提出した。